# **■** NetApp

## Cloud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ

Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett June 07, 2021

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task\_backup\_to\_azure.html on June 21, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

Clo	oud Volumes ONTAP データの Azure BLOB ストレージへのバックアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	クイックスタート	1
	要件	3
	新しいシステムでの Cloud Backup の有効化 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4
	既存のシステムでの Cloud Backup の有効化	5

# **Cloud Volumes ONTAP** データの **Azure BLOB** ストレージへのバックアップ

Cloud Volumes ONTAP から Azure Blob Storage へのデータのバックアップを開始するには、いくつかの手順を実行します。

## クイックスタート

これらの手順を実行してすぐに作業を開始するか、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認してください。

## 構成がサポートされていることを確認します

- Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降を Azure で実行している。
- バックアップを格納するストレージスペースに対する有効なクラウドプロバイダのサブスクリプションが必要です。
- に登録しておきます "Cloud Manager Marketplace のバックアップソリューション"またはを購入したこと が必要です "アクティブ化されます" NetApp の Cloud Backup BYOL ライセンス。

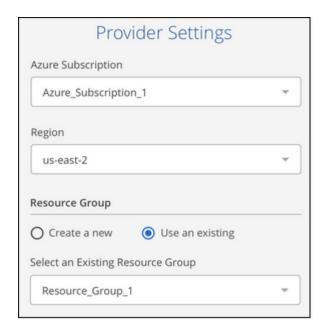
## 新規または既存のシステムで Cloud Backup を有効にします

- 新しいシステム: Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。
- 既存のシステム:作業環境を選択し、右パネルのバックアップと復元サービスの横にある \* 有効化 \* をクリックして、セットアップウィザードに従います。



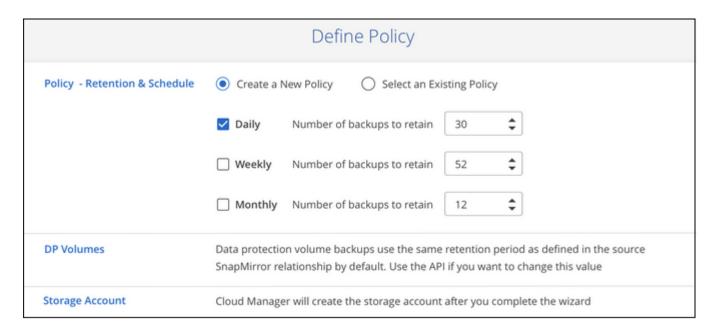
#### プロバイダの詳細を入力します

プロバイダのサブスクリプションとリージョンを選択し、新しいリソースグループを作成するか、既存のリソースグループを使用するかを選択します。



## バックアップポリシーを定義

デフォルトポリシーでは、毎日ボリュームがバックアップされ、各ボリュームの最新の 30 個のバックアップコピーが保持されます。日単位、週単位、または月単位のバックアップに変更するか、システム定義のポリシーの中からオプションを追加するものを 1 つ選択します。保持するバックアップコピーの数を変更することもできます。



#### バックアップするボリュームを選択します

Select Volumes (ボリュームの選択)ページで、バックアップするボリュームを特定します。

必要に応じて、データをリストアします

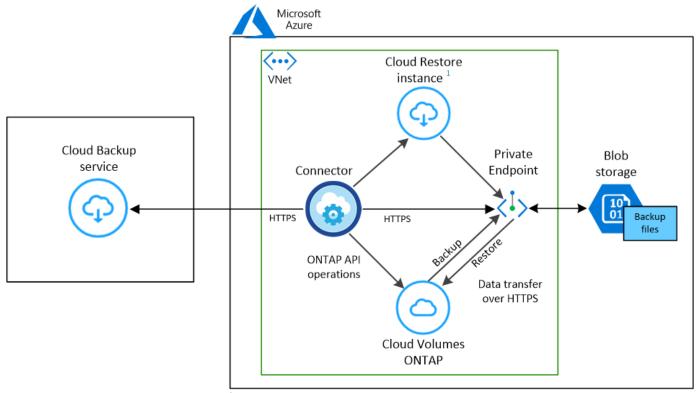
バックアップ全体を新しいボリュームにリストアするか、またはバックアップから既存のボリュームに個々のファイルをリストアするかを選択します。データは、 Azure 内の Cloud Volumes ONTAP システムまたはオンプレミスの ONTAP システムにリストアできます。

を参照してください "バックアップファイルからのボリュームデータのリストア" を参照してください。

## 要件

Azure Blob Storage へのボリュームのバックアップを開始する前に、次の要件を確認し、サポートされている構成であることを確認してください。

次の図は、各コンポーネントとその間の準備に必要な接続を示しています。



<sup>1</sup> Cloud Restore instance is active only during single-file restore operations.

クラウドに導入された Cloud Restore 仮想マシンは、コネクタと同じサブネットに配置されます。

サポートされている ONTAP のバージョン

Cloud Volumes ONTAP 9.7 以降。

## ライセンス要件

Cloud Backup BYOL ライセンスには、 Azure Cloud Backup サブスクリプションは必要ありません。シリアル番号はネットアップから提供される必要があります。この番号を使用すると、ライセンスの期間と容量にサービスを使用できます。を参照してください "バックアップ BYOL ライセンスの管理"。

また、バックアップを格納するストレージスペースには、 Microsoft Azure サブスクリプションが必要です。

サポートされている Azure リージョン

Cloud Backup はすべての Azure リージョンでサポートされます "Cloud Volumes ONTAP がサポートされている場合"。

## Azure 環境にはアウトバウンドのインターネットアクセスが必要です

Cloud Restore 仮想マシンには、アウトバウンドのインターネットアクセスが必要です。仮想ネットワークまたは物理ネットワークでインターネットアクセスにプロキシサーバを使用している場合は、インスタンスがアウトバウンドのインターネットアクセスを使用して次のエンドポイントに接続していることを確認してください。

エンドポイント	目的
¥ http://olcentgbl.trafficmanager.net ¥ https://olcentgbl.trafficmanager.net	Cloud Restore 仮想マシン用の CentOS パッケージが用意されています。
¥ http://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io ¥ https://cloudmanagerinfraprod.azurecr.io	Cloud Restore 仮想マシンのイメージリポジトリ。

## 新しいシステムでの Cloud Backup の有効化

Cloud Backup は、作業環境ウィザードではデフォルトで有効になっています。このオプションは必ず有効にしておいてください。

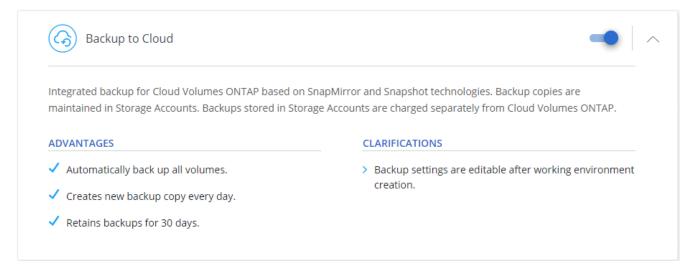
を参照してください "Azure で Cloud Volumes ONTAP を起動します" を Cloud Volumes ONTAP 参照してください。



リソースグループの名前を選択する場合は、 Cloud Volumes ONTAP を導入する際に \* disable \* Cloud Backup と入力します。の手順に従います 既存のシステムでの Cloud Backup の有効化 Cloud Backup を有効にしてリソースグループを選択します。

## 手順

- 1. [ Cloud Volumes ONTAP の作成\*] をクリックします。
- 2. クラウドプロバイダとして Microsoft Azure を選択し、シングルノードまたは HA システムを選択します。
- 3. Azure クレデンシャルの定義ページで、クレデンシャル名、クライアント ID 、クライアントシークレット、およびディレクトリ ID を入力し、\* 続行 \* をクリックします。
- 4. 詳細とクレデンシャルページに必要事項を入力し、 Azure Marketplace サブスクリプションが登録されていることを確認して、「\* Continue \* 」をクリックします。
- 5. [サービス]ページで、サービスを有効のままにして、 [\* 続行]をクリックします。



6. ウィザードの各ページを設定し、システムを導入します。

Cloud Backup はシステムで有効になり、ボリュームを毎日バックアップして、最新の 30 個のバックアップコピーを保持します。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

## 既存のシステムでの Cloud Backup の有効化

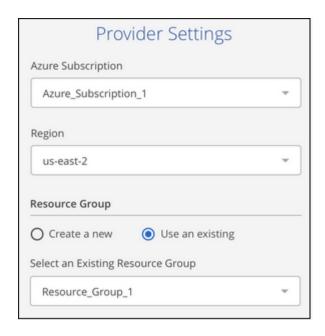
作業環境から Cloud Backup をいつでも直接有効にできます。

## 手順

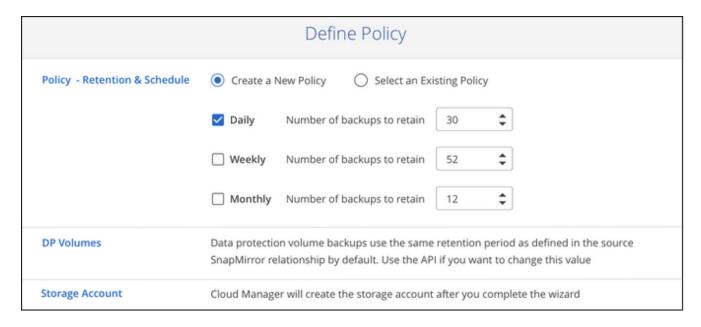
1. 作業環境を選択し、右パネルの [ バックアップと復元 ] サービスの横にある [\*Enable] をクリックします。



- 2. プロバイダの詳細を選択し、\*次へ\*:
  - a. バックアップの格納に使用する Azure サブスクリプション。
  - b. バックアップを保存するリージョン。
  - c. リソースグループ 新しいリソースグループを作成することも、を選択して既存のリソースグループ を選択することもできます。



3. [Define Policy] ページで、バックアップスケジュールと保持の値を選択し、 [\* Next] をクリックします。



を参照してください "既存のポリシーのリスト"。

4. バックアップするボリュームを選択し、\*バックアップのアクティブ化\*をクリックします。

57	Select Volumes  57 Volumes										Q	
	Volu	me Name	•	Volume Type	₩	SVM Name	₩	Used Capacity	•	Allocated Capacity	•	Backup Status   ₹
	Volu	me_Name_1		RW		SVM_Name_1		0.25 TB		10 TB		○ Not Active
	Volu	me_Name_2		RW		SVM_Name_2		0.25 TB		10 TB		○ Not Active
	Volu	me_Name_3		RW		SVM_Name_3		0.25 TB		10 TB		○ Not Active
	Volu	me_Name_4		DP		SVM_Name_4		0.25 TB		10 TB		Not Active
	Volu	me_Name_5		RW		SVM_Name_5		0.25 TB		10 TB		○ Not Active

<sup>。</sup> すべてのボリュームをバックアップするには、タイトル行( Volume Name )。

Cloud Backup が起動し、選択した各ボリュームの初期バックアップの作成が開始されます。 Backup Dashboard が表示され、バックアップの状態を監視できます。

可能です "ボリュームのバックアップを開始および停止したり、バックアップを変更したりできます スケジュール" また、次のことも可能です "ボリューム全体または個々のファイルをバックアップファイルからリストアする"。

<sup>。</sup>個々のボリュームをバックアップするには、各ボリュームのボックス(✓ volume 1)。

## **Copyright Information**

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

#### **Trademark Information**

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <a href="http://www.netapp.com/TM">http://www.netapp.com/TM</a> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.